

平成25年度 多摩区地域課題対応事業 実施結果

I 安全・安心まちづくり事業費	予算額 5,576,000円	決算額 5,372,419円
-----------------	----------------	----------------

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
1-1 多摩区安全・安心まちづくり推進事業  【危機管理担当】	安全で安心なまちづくりを推進するため、区民・地域、警察、消防、行政が連携し、防犯、防火、交通安全、放置自転車対策等の活動に取組む推進体制を整備する。 また、子どもの非行防止と犯罪被害防止の両面からの取組を行う。 (1)交通安全教室の実施。(2)防犯パトロール活動の支援や防犯セミナーの実施。(3)防犯・防火・交通事故防止・自転車放置防止のための路面標示や啓発看板・電柱幕の設置。  ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区安全・安心まちづくり推進協議会 ■開始時期：平成17年度	○町内会・自治会、老人クラブ、PTA等の見守り活動の促進のため、パトロール用ベスト、のぼり旗の貸与を行い、地域一体となった安全安心のための取組につなげた。 ○春、夏、秋、年末の各交通安全運動期間において、地域、警察、行政が連携して、交通安全及び自転車放置防止の啓発キャンペーンを実施し、区民の交通ルールの遵守やマナー違反を防止する取組を進めることで、交通安全意識の高揚と交通事故防止につなげた。 ○身近な犯罪から身を守るために多摩防犯セミナーを1月21日に開催し、90名が参加した。 ○交通安全教室を幼稚園、保育園、小学校で延べ68回、6,549名の園児、児童を対象に実施し、交通安全意識の定着を図った。	予算額：1,366,000円 決算額：1,362,571円
1-2 市民防災活動支援事業  【危機管理担当】	地域防災活動の中心的役割を担う自主防災組織の育成と区民等の防災意識の向上を図るため、防災フェア、防災セミナー、日赤救急法基礎講座を開催する。 また、各避難所運営会議に避難所運営ゲーム(HUG)を使用した訓練を導入し、地域防災力の向上を図る。 各種イベントを区民みずから行うことで、災害時に重要な自助・共助の理念を根付かせることができる。  ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区自主防災組織連絡協議会 ■開始時期：平成18年度	○11月6日から8日において、市民救急員養成講座を開催し、区民11名が参加し、災害対応能力の向上を図った。 ○12月5日に開催した防災フェアには、500名の区民が参加し、防災意識を啓発し向上を行った。 ○12月5日の防災フェアと同日に開催した防災セミナーには、120名の区民が来場し、防災に関する知識の向上を図った。 ○稲田中学校、枳形中学校、長尾小学校、東生田小の避難所運営会議において、避難所運営訓練が行われ、地域内の自主防災組織間の連携及び災害時の避難所管理運営能力の向上が図られた。 ○避難所運営ゲーム(HUG)を宿河原小、下布田小、東菅小、生田小及び三田小の各避難所運営会議において実施し、災害時の避難所運営管理能力の向上を図った。	予算額：715,000円 決算額：712,760円
1-3 まちなか交通安全教室開催事業  【危機管理担当】	スタントマンが自転車対自動車の交通事故等を再現し、受講者の視覚に恐怖感を訴えることで事故を疑似体験させる「スクエアード・ストレート方式」の交通安全教室を開催し、確実な自転車の乗り方や正しい交通ルールを習得してもらい、交通事故防止につなげる。  ■事業対象：区内中学生徒、区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区交通安全対策協議会 ■開始時期：平成23年度	○スタントマンが交通事故や、自転車のマナー違反による恐怖感を実際に受講者の視覚に訴えることで、自転車が乗り方によってはいかに危険な乗り物であるかを疑似体験してもらうことができた。実際に何人かの生徒に参加してもらうことで、より現実的な体験をすることができ、自転車による交通事故防止や、利用者のマナーアップのための効果的な取組が図られた。また、地域の方の参加を得られたことで交通事故防止のための啓発につながった。  ・平成25年9月19日、市立南生田中学校校庭にて実施。生徒453名、地域住民50名が受講	予算額：285,000円 決算額：276,443円
1-4 自転車利用マナーアップ促進事業 ※区民会議関係  【危機管理担当】	自転車の扱いに不慣れな小学生が交通安全標語を作成することで、児童に交通安全の意識を根付かせ、優秀作品に選定した標語を使用して看板を作成・設置することで、住民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止につなげる。  ■事業対象：区内小学生徒、区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所危機管理担当 ■開始時期：平成25年度(新規事業)	○自転車利用のマナーアップ向上を意識させる取組として、多摩区内の小学校へ交通安全標語の募集を行い、474件(306名)の応募があり、区長賞として選出した作品を、12月18日に表彰を行い、看板(電柱幕)として作成し効果的な場所に設置した。 ○優秀な標語を区のホームページに掲載することで、地域住民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止につなげる取組を行った。	予算額：316,000円 決算額：161,556円

<p>1-5 多摩区本部危機管理機能強化事業（局区連携事業+区独自事業）</p> <p>【危機管理担当】</p>	<p>災害による区内の被害を軽減するため、多摩区防災連絡会議を通して、関係機関との取組の強化と情報の共有を図り、区民の防災意識と能力向上のため、若い世代への訓練を関係機関と連携を図り推進する。</p> <p>また、災害時に対応の拠点となる区本部や避難所等において、的確で迅速な災害対応を行うために、職員向け訓練の実施やマニュアルの整備、必要な備品等を整備し、区全体の危機管理機能の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■事業対象：区民</li> <li>■事業形態：直営</li> <li>■実施主体：区役所危機管理担当</li> <li>■開始時期：平成 25 年度(新規事業)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市地域防災計画第 2 期修正に対応した多摩区地域防災計画の修正を行った。</li> <li>○災害時に区本部で使用する備品、装備品を整備した。</li> <li>○8 月 17、24 日に情報伝達訓練、8 月から 10 月にかけて徒歩参集訓練、12 月 2 日に区本部訓練を実施し、区役所職員及び組織としての災害対応能力の向上を図った。</li> <li>○多摩区防災連絡会議の医療部会(1 月 29 日)、帰宅困難者部会(12 月 3 日)において、個別の課題への取組と関係機関の連携について協議した。</li> <li>○多摩区防災連絡会議の開催(2 月 20 日)</li> </ul>	<p>予算額：2,984,000 円 決算額：2,859,089 円</p>
--	---	--	--

Ⅱ 地域福祉・健康づくり事業費

予算額 1,995,000円

決算額 1,834,065円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
2-1 パサージュ・たま開催事業  【地域保健福祉課】	障害福祉に関する理解と関心を深めるために、年11回、区役所総合庁舎1階アトリウムで開催している。障害に関する活動をしている団体・作業所等が運営を担当し、活動紹介、普及啓発活動、相談コーナー、作業実演、展示等を行っている。 また、広報については、区ホームページやチラシ等により開催日を周知し、広く参加を呼びかけている。  ■事業対象：区内障害者施設とその利用者及び区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域保健福祉課 ■開始時期：平成20年度	障害に関する活動をしている団体・作業所等により、活動紹介、普及啓発活動、相談コーナー、作業実演、展示等を、年11回、区役所総合庁舎1階アトリウムで開催し毎回盛況となっている。 同じ地域に住む住民と障害者がお互いに関心を持ち、理解しあうことは、充実した生活を送る上で重要であるが、障害者施設及び作業所が普及啓発活動を行える場はごく限られている。「パサージュ・たま」は、区民の多くが利用する区役所総合庁舎のアトリウムを有効に利用し、障害者自身と多くの人々が直接関わりあえる場を提供している。 また、定期的実施することで、区民に対する周知も図られ、「パサージュ・たま」を目的に来庁される方もいる。	予算額：116,000円 決算額：114,740円
2-2 健康づくり推進事業  【地域保健福祉課】	多摩区の地域資源を活かした特色ある事業を実施することで、幅広い世代が交流し、健康づくり及び食育に対する普及啓発をする。 ① 体験イベントの実施 ② 区民向けの講演会の実施  ■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域保健福祉課 ■開始時期：平成20年度	○健康フェスタ2013を9月28日(土)実施。市民団体が主体的に企画し、区民に向けた健康や福祉に関する普及啓発が行えた。また、世代間交流や団体同士の交流が図れた。参加者2,104名 ○食育講演会を2月4日(火)実施。同時に食育交流会を行い、区内の食育実践団体や個人の活動報告や交流を行った。参加者55名 ○地産地消体験イベントの実施 11月2日(土)に「食育の秋 in よみうりランド～里芋掘りと芋煮会～」を小学生親子を対象に、セレサ川崎農業協同組合菅支店・(株)よみうりランド・菅町会と協働で多摩区農業生産者やセレサ川崎農業協同組合女性部菅支部・食生活改善推進員・明治大学農学部学生ボランティアの協力を得て実施した。食育の普及や農業体験を行いながら世代間交流の場となった。 参加者79名	予算額：365,000円 決算額：352,599円
2-3 精神保健普及啓発事業  【高齢・障害課】	多摩区の精神保健福祉に関する課題の解決に向けて、地域が抱える問題をテーマにした講演会を開催するなどして、精神保健福祉の普及啓発を進めていく。 また、支援者に対して学習会等を実施し、支援技術の底上げを目指す。 さらに、多摩区の精神保健福祉に携わる関係機関のネットワークの一層の構築にも取り組んでいく。  ■事業対象：区内の精神障害者とその支援者 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区精神保健福祉連絡協議会 ■開始時期：平成23年度	今年度は、「家族支援」をテーマに取組んだ。年4回実施される精神保健福祉連絡会議において、精神障害者家族のニーズに基づいた講師と講演内容を選定したことにより、11月の講演会には60名の参加があり、アンケートの結果、「良かった」との意見が95%を占めた。 また、今年度は「川崎市多摩区における家族支援に関するアンケート調査」を実施し、集計結果を続めた。	予算額：182,000円 決算額：181,900円
2-4 スポーツ推進委員スキルアップ事業  【地域振興課】	スポーツ推進委員が各担当区域(7地区①菅②中野島③登戸④宿河原・堰・長尾⑤生田東⑥生田北⑦生田南)で健康づくりの推進役として活躍できるよう、指導技術のスキルアップを行うとともに習得した技術の還元を図る。  ■事業対象：体育指導委員(現名称：スポーツ推進委員) ■事業形態：全部委託 ■実施主体：学校法人聖マリヤンナ医科大学 ■開始時期：平成19年度	スポーツ推進委員が専門的知識・技術を身に付けるため、実技を含めた研修を行い、地域に貢献するための体力・健康づくりに対する理解、技術の向上を図ることができた。 また、スポーツ推進委員会の各実施事業において、参加者へ研修で習得したストレッチを指導する取組を行い、川崎市多摩スポーツセンターで9月に実施した区民体力テストの集いにおいて、ストレッチを参加者に指導するコーナーを設けるなど、知識・技術を区民に還元することができた。	予算額：284,000円 決算額：157,500円
2-5 パートナリシップ連絡会開催事業  【地域保健福祉課】	第3期多摩区地域福祉計画で定めた5つの地域福祉の圏域で、町会・地区社協・民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター・障害者相談支援センター・公園体操・いきいき体操、子育てグループ・NPO法人・行政などの地域の保健福祉に関わる機関や組織が参加する連絡会を開催し、お互いの顔をつなぎ地域の課題や解決方法などについて共に考える。  ■事業対象：区内の福祉関連団体 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域保健福祉課 ■開始時期：平成24年度	5地区(登戸地区、菅地区、中野島地区、稲田地区、生田地区)で、年1回ずつ交流会形式のワークショップを行った結果、地域の様々な団体の活動内容について詳しく知ることができたという感想が多く聞かれた。 また、連絡先の交換をして活動や広報の協力を約束するといった場面も見られ、団体同士がよりつながるという目標を達成することができた。	予算額：1,048,000円 決算額：1,027,326円

Ⅲ 総合的こども支援事業費

予算額 14,570,000円

決算額 13,963,987円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
<p>3-1 多摩区こども総合支援連携会議事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>地域の子育て支援団体や関係機関等と「多摩区こども総合支援連携会議」を開催し、区内の子育てに係る実態調査の分析から課題の共有や取組の方向性についての検討等を行い、地域全体での合意形成の上策定した「たまっ子プラン」に基づき、地域と行政が役割分担をしながら課題解決に向けた取組を推進し、安心して子育てができる地域づくりを推進する。</p> <p>■事業対象：区内の子育て支援関係機関・団体・グループ                  ■事業形態：一部委託                  ■実施主体：区役所こども支援室                  ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○連携会議3回、庁内関係部署による検討会議3回開催                  ○区内の子育て支援事業の取組みの広報・アピール                  ○区内の子育て支援事業の進行管理</p> <p>地域の子育て支援活動団体や関係機関・行政が、地域の実態調査の結果を基に区の子育ての課題を共有し、「多摩区こども支援基本方針」の改定を行ったことで、地域と行政が役割分担をしながら、地域全体で課題解決に向けた子育て支援に取組む地域づくりの推進につながった。</p>	<p>予算額：2,537,000円                  決算額：2,527,210円</p>
<p>3-2 多摩区幼・保・小連携事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>子どもの育ちや一人ひとりの子どもの成長を一体的に支援するために、区内の幼稚園・保育園・小学校が連携を図り、連絡会の開催や保育実習研修等の実施により支援体制づくりを進める。</p> <p>また、区内の幼稚園・保育園・小学校の教職員が相互に理解を深め、幼児・児童に関する諸課題等について話し合い、情報共有や交流を行いながら相互協力・連携を進める。</p> <p>■事業対象：区内の幼稚園・保育園・小学校                  ■事業形態：直営                  ■実施主体：区役所こども支援室                  ■開始時期：平成18年度</p>	<p>○日常交流の推進(園児、児童対象)                  ○授業参観、行事参観、懇談会の実施(職員)                  ○実務担当者連絡会議開催 年2回 園長・校長連絡会議開催 年1回 代表者連絡会 年1回                  ○保育実習研修実施(夏期休業中他)                  ○幼稚園保育園同士の保育参観実施                  ○ちらし「生活リズムをつくりましょう」作成、配布</p> <p>平成23年度(70施設)より参加対象を区内の全ての幼稚園・保育園・小学校(小規模保育園、私立小学校を含む78施設)とし事業を実施中であり、地域における連携のさらなる充実を図ることができた。</p> <p>また、保育実習研修について小学校教諭のみならず幼稚園教諭、保育士が互いの保育現場を見合う機会を設定したことで、就学前の子どもの理解や教育・保育内容の理解等について関心・必要性の高さを確認するとともに、さらなる連携の在り方について考えを深める機会となった。</p>	<p>予算額：307,000円                  決算額：230,587円</p>
<p>3-3 公立保育所の地域支援推進事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>待機児童ゼロ対策と並び「新たな公立保育所」が担う、民間保育所との連携促進や保育所等職員の人材育成の機能を活用し、早急な保育の質の担保を図ることが求められている。そこで、多摩区公立保育所の人材やこれまで培ってきたノウハウを活かし、就学前児童とその保護者を対象として、子どもの健やかな成長促進及び育児に関する悩みや不安を解消するための事業を展開し、さらなる民間保育所等との交流・連携・支援機能の強化を図り適切な人材育成事業のもと、区内保育所等の保育の質の向上の早急な実現を目指す。</p> <p>(1) 地域の子育て支援事業                  ・保育体験・発達相談支援コーディネーターを中心とした子どもの発達に関する相談・プール開放、水遊びの提供</p> <p>(2) 区内保育所等職員への人材育成事業                  ・研修等(職員の保育見学及び交流研修、区内保育所等職員のスキルアップ研修)・園児と職員の保育交流</p> <p>■事業対象：区内の子育て中の親子、認可保育所と認可外保育施設の保育士・園児                  ■事業形態：直営、緊急対応事業                  ■実施主体：区役所こども支援室                  ■開始時期：平成23年度</p>	<p>○食事付き保育体験の実施 参加者489名                  ○外部講師を招いた人材育成研修の実施 年5回 参加者589名                  ○内部講師を招いた人材育成研修の実施 年5回 参加者293名</p> <p>事業計画に基づき、引き続き区内公営保育所全園で食事提供付き保育体験を実施した。子育て支援のキーワードとなる父親の育児参加促進への取組を各園で企画し、園の持ち味を活かした講座を実施。特に、調理のデモンストレーション付き講座は人気があり、食への意識や高いニーズが伺えた。今年度重点を置いた人材育成においては、現在の保育行政の動向や緊急性のある保育課題に的を絞って、研修の回数を有償の外部講師による研修(5回)と無償の内部講師による研修(5回)の計10回を実施。昨年度を上回る参加があった。</p>	<p>予算額：1,356,000円                  決算額：1,318,302円</p>
<p>3-4 こども・子育て普及啓発事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>子育て支援者を対象とした各種研修や地域全体に向けての子育てへの理解を深めてもらう普及啓発、親を対象とした子どもに関する講座や子育て不安及びストレスの軽減を図る催し等を実施する他、多摩区こども総合支援連携会議等で出された地域課題をテーマにした事業等を実施する。</p> <p>■事業対象：区内の親子・子どもに関わる機関                  ■事業形態：直営                  ■実施主体：区役所こども支援室                  ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○「家族みんなが幸せになる子育て」 11/20 参加者34名                  ○「発達障害の正しい理解と支援のために」 12/10 参加者25名                  ○「よりよい親子関係のために～わが子の子育てを振り返って～」 12/17 参加者26名                  ○「よりよい親子関係のために～ストレスマネジメントスキルを身につける～」 1/30 参加者11名</p> <p>発達障害や子育て不安や虐待等、意識調査でニーズの高いテーマを設定し講演会を開催した。発達障害に関しては、専門的な視点から事例を挙げてより具体的な支援の在り方を、また、保護者の視点からは、わが子の子育てを振り返りながら、子どもの特性に応じた係りと自らのストレスマネジメントの在り方について聞くことができた。参加者から「分かりやすかった」「具体的に理解できた」と好評だったため、さらに参加者自らのストレスマネジメントスキルを高めるための講座を企画実施し、参加者の実践に結びつけられるような内容になった。</p>	<p>予算額：210,000円                  決算額：184,926円</p>

<p>3-5 スーパーバイズによる相談機能強化事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>多問題ケース等に対して問題を軽減し、子どもの健やかな育成を支援するため、スーパーバイズにより、相談過程についてケースの状況の分析・見立て・支援方法などの助言を受け、ケース支援の充実と併せて職員のスキルアップを図る。</p> <p>また、関係機関からの事例提出や参加により、機関連携の強化を行う。</p> <p>■事業対象：区内における乳幼児と保護者          ■事業形態：直営          ■実施主体：区役所こども支援室          ■開始時期：平成24年度</p>	<p>○区内の相談体制の強化に向けて、関係部署や関係機関・団体との連絡調整の実施 20回程度          ○職員のスキルアップ研修の実施 1回 26名参加</p> <p>多問題ケースの対応については、複数の関係機関や部署が関わっている場合が多く、支援者が連携をとり役割分担して支援していくことが重要である。地域で子育てを見守るネットワークづくりに向けて、連絡調整を行い、そのような機会を設けたことで、区の相談体制の機能強化に向けて取り組むことが出来た。</p> <p>また、保育所や幼稚園、小学校など集団の中で、対応について専門的知識を必要とする発達障害児について、正しく理解し成長を促すための支援について、区役所の専門職や保育園・幼稚園・小学校の職員を対象に研修を行いスキルアップにつながった。</p>	<p>予算額：262,000円          決算額：47,919円</p>
<p>3-6 親子の集いの場づくり事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>家庭で保育している就学前の親子を主な対象に、親の育児不安やストレスの軽減及び親同士の交流・仲間作り・子育てネットワーク作りを目的とし、不特定多数の未就学児親子が気軽に参加し集う場の提供や子育て情報の提供など、子どもが安全に遊べる環境整備を行い、地域の子育て支援環境の充実の一助とする。</p> <p>(1) 多摩区「ママとあそぼうパパもね」事業          (2) 多摩区子育て安全マット・玩具貸し出し事業</p> <p>■事業対象：区内における乳幼児と保護者          ■事業形態：直営          ■実施主体：区役所こども支援室          ■開始時期：平成19年度</p>	<p>○親子のふれあい、こどもに関わる身近な相談・情報を提供。また、歌や手遊び、体操、お誕生会等の催しを実施。区内4地区にて毎月1回(8・9月除く)          ・登戸地区(すかいきつず)・生田地区(生田道院)・中野島地区(中野島こども文化センター)          ・菅地区(菅こども文化センター、6・7月のみ菅会館)          9月「たまたま子育てまつり」に参加 810名参加 12月「交通安全教室」を実施 148名参加          3月「親子ミニコンサート」を開催 267名参加</p> <p>○「ママとあそぼうパパもね情報」「子育てワンポイント」等区の子育て情報提供をホームページで随時発信          ○公立保育園7園の地域支援担当者会議を開催 年4回          ○主催・共催者の連絡会を実施 年2回          ○安全マット・玩具貸し出しを行い、地域子育て支援事業への環境を整備すると共に定期的に点検を実施</p> <p>年間の参加者数は約2,500名。地区により参加利用の増減が見られるが、毎回新規利用登録がありニーズの高さがうかがえる。公立保育所の民営化に伴い貸し出しリストを更新し、市政だより等で広報した結果、新規利用が増えた。</p>	<p>予算額：617,000円          決算額：511,762円</p>
<p>3-7 多摩区「親子の育児園」事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>乳幼児(主に0歳～3歳)を家庭で保育している親子を対象に育児や父親参加等、子育てについての学習、相談、交流の機会を提供し、子育て力を養う。</p> <p>また、虐待予防施策の一助として地域の資源活用及び支援ネットワークへつなげる機会とする。</p> <p>■事業対象：区内のこども(3歳まで)と保護者          ■事業形態：全部委託          ■実施主体：NPO法人ままとんきつず          ■開始時期：平成18年度</p>	<p>○生田中学校特別創作センターでの実施(全区の0～3歳児を対象)          ・6月～1月の土曜日、午前、12回開催 0歳児14組、1歳児22組、2,3歳児23組 参加          ・クラス別に、遊び、工作、育児に関する学習等を実施 ・随時子育てに関する情報提供</p> <p>○こども文化センターでの実施(該当地域の2～3歳児を対象)          ・9月～10月の平日、午前、6回開催 18組参加          ・保育付講座として、「子どもの発達や関わり方への理解」、「遊びと成長」、「リラクゼーション」、「地域との関わり等に関する学習」等を実施 ・随時子育てに関する情報提供</p> <p>生田中学特別創作センターでの育児園は、終了後も幼稚園や小学校でも関係が継続され参加者同士のつながりが築けている。しかし、0歳児の申込は少なく、地域子育て支援センター等の参加できる場が充足し、会場の立地条件等も影響していると思われる。対象年齢や会場については検討を行っていく。</p> <p>こども文化センターでの育児園は、地区の子育て支援団体や関係機関からの活動紹介を取り入れ、身近な子育て支援者や団体・機関等が開催前後に2回地区のネットワーク会議を行い、事業の実施をきっかけに連携強化につながった。参加者達は自分に合ったつながりを求めて参加できていた様子である。</p> <p>育児園の参加で得た知識や親同士の交流により、親としての自覚や経験を深め、親も子ども成長していく姿が見られた。</p>	<p>予算額：1,655,000円          決算額：1,623,752円</p>
<p>3-8 親育て・子育て支援者養成事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>少子化・核家族化、人間関係の希薄化等が社会全体の課題となる中で、子育てに不安や孤立感をもつ保護者が増えている。虐待の未然防止の一環として、安心して子育てを楽しめる環境づくりのため、地域ぐるみで子ども・子育てを見守り、支援する体制の整備が必要となっている。</p> <p>地域の様々な子育て支援活動に係る支援者を養成することを目的として、子育て支援に関心のある人を公募して講座を開催し、学習機会を提供するとともに、区内の子育て支援活動の紹介や体験実習、情報提供等を行う。</p> <p>■事業対象：区民          ■事業形態：全部委託          ■実施主体：NPO法人ままとんきつず          ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○講義16回(2回は公開講座2回の交流会含む)          ○実習6回実施 参加者計22名</p> <p>今年度から、事業目的を「親育て及び子育て支援者養成」から「子育て支援者養成」に絞り専門性を高めたプログラム内容とする等の変更を行った。受講者については、子育て期で病気や上の子の行事等で継続出席の難しい人も多かったが、出席率も平均7割を超え実習の全員参加等積極的な参加があった。</p> <p>アンケートについては、受講内容に対し概ね好評であった。今後の活動に関するものでは、「すでに活動している」「近々活動する」「乳幼児の子育て中」など現在は難しいが今後活動したい方が半数を越え、今後に関わりたいという意見が多く出された。こうしたニーズに対し、講座終了後も情報提供や相談にあたる予定である。</p>	<p>予算額：992,000円          決算額：991,216円</p>

<p>3-9 多摩区子育て支援パスポート事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>多摩区商店街連合会との協働により、区内の妊娠中から18歳未満の子どもがいる家庭の経済的負担の軽減と、声かけ・見守りによる地域でのコミュニケーションを高め、子育てを地域社会が一体となって支援する。具体的には、対象家庭に対し希望に応じて子育て支援パスポートカードを交付し、協賛店でカードを提示することで各店独自の特典等のサービスを受けられる。その仕組みを推進するための、カード発行、手続き案内、協賛店の取りまとめ、普及のためのPR活動を行う。</p> <p>■事業対象：妊婦及び0歳から18歳までの子どもを持つ家庭 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区商店街連合会 ■開始時期：平成19年度</p>	<p>○パスポートの発行の推進 1,464枚発行 ○商店街連合会との子育てイベントの共催、事業の協力 ○パンフレットのリニューアル</p> <p>パスポートの発行など継続的に実施し、ホームページに掲載する協賛店を取材し掲載すると共に、パンフレットもリニューアルし最新情報を提供できた。たまたま子育てまつりにおいて、商店街連合会と協力して広報アピール事業やパスポートの発行を行った。 また、今年度は商店街連合会主催のTAMA FESTIVALにおいても新たにパスポート発行や事業の広報アピールを行うなど、商店街連合会との連携を深めながら、広く区民へアピールできた。</p>	<p>予算額：725,000円 決算額：724,980円</p>
<p>3-10 多摩区こども総合支援に係る情報収集・発信事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>親の育児不安の軽減及び地域子育て支援体制へ繋げる機会として、子育て家庭のニーズに応じて多様な情報提供を行う。 また、市民活動支援・コミュニティの活性化を目指して広報面での活動支援を行う。具体的には、地域子育て情報ブックや子育て応援冊子等の作成及び配布、地域子育て情報を掲載してホームページの運営、掲示板やちらしコーナーでの情報提供を行う。</p> <p>■事業対象：区内の妊婦〜子どもを持つ家庭 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○子育て情報ブック 5,000部発行 ○ホームページの更新等 子育てカレンダー更新6回、子育てWEB更新年1回(他詳細訂正年20回) ○ちらしコーナーでの情報提供や広報支援 年間随時</p> <p>子育て情報ブックについては、区役所・行政サービスコーナー等これまでの配布施設に加え、子育て関連施設から新規に配布希望が寄せられ、より区民が入手しやすくなった。ホームページの更新等については、市・区のホームページのリニューアルや新CMSへの移行に伴い、情報内容やサイト構成等の整理を行った。 地域子育て支援活動・事業の広報及び交流支援については、親の育児不安の軽減へ向け、アドバイスや地域の支援体制・施設を紹介する「子育て応援冊子」を作成し、区内の子育て関連施設で配架閲覧や希望者への配布を行った。</p>	<p>予算額：1,562,000円 決算額：1,554,140円</p>
<p>3-11 多摩区こどもの外遊び事業 ※区民会議関係</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>生活環境や家族のあり方等の変化に伴い、子どもを取り巻く環境も大きく変化していることから、公園や広場等、周辺にある自然環境の中で子どもの想像力と社会性を培う「こどもの外遊び」を推進する。地域理解のための広報等を行うとともに、子育て支援関係団体や地域団体主催等による外遊び活動の支援及び推進を行う。</p> <p>■事業対象：区内の子どもと保護者 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区こどもの外遊び委員会 ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○外遊び事業(委員会主催及び事業協力)の実施 3回 計約450名参加 ○外遊びの啓発リーフレットの作成、催しにおけるPR活動 ○外遊び普及講座(6日間)の実施 17名参加</p> <p>地域主体での外遊び推進を目標に、外遊びの啓発PR活動として外遊びの普及と人材の発掘を目的とした講座(ワークショップと実習)を企画・実施した。より仲間作りや話し合いが深まるよう3日間から6日間に拡充した。受講中から地域の外遊び活動にボランティアで入るなど積極的な参加が見られた。外遊びがこどもの成長にもたらす効果をうたったリーフレットの配布の他、新たにまつりなどのイベントでブースを出した(2回)。地域外遊び活動への支援として、各地域や公園を拠点としたコミュニティづくり推進事業等にスタッフ派遣や物品貸出、広報支援等を行った。 また、前年度受講生による地域での外遊び活動が新たに立ち上がった。</p>	<p>予算額：800,000円 決算額：799,703円</p>
<p>3-12 幼児の発達支援事業</p> <p>【児童家庭課】</p>	<p>幼児に精神及び社会性の発達に遅れがある場合、育ちにくさや育てにくさがあり虐待のリスクが高く、虐待予防の観点からも支援が必要である。 また、発達障害者支援法においても、早い時期から周囲から理解が得られ、能力を伸ばすための療育等の必要な支援や環境の調整が行われることが大切であると言われている。その為、1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査後のフォローとして、グループダイナミクスを活用した事業(「プーさんキッズ」、「たま遊びの会」)と3歳児健康診査個別相談事業を実施する。</p> <p>■事業対象：児童の養育に困難さや心配を抱えている親子 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所保児児童家庭課 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○1歳6か月児健康診査後のフォロー教室「プーさんキッズ」 年12回実施 ○3歳児健康診査後のフォロー教室「たま遊びの会」 年12回実施 ○3歳児健康診査併設の心理相談員による個別相談 年36回実施</p> <p>心理相談員・言語聴覚士・保育士・体育指導員・保健師が連携して多方面から関わり、集団遊びの体験や親同士の交流、個別相談を実施したことで、育児不安の軽減が図れた。また、親が子どもの発達を理解し、その子にあった対応ができるように支援することができた。 3歳児は運動より精神の著明な発達が認められる時期であると同時に、個人差が顕著に現れる時期でもある。発達の遅れが疑われた場合、心理相談員による個別相談を実施したことにより、保護者が児の成長をどのように受け止めているかを十分把握し、慎重に療育を促すことができた。 発達の偏りから育てにくさやコミュニケーションの取りにくさがある場合、虐待のリスクが高い。この事業を実施し、支援することで虐待予防に繋げることができた。</p>	<p>予算額：1,700,000円 決算額：1,665,357円</p>
<p>3-13 生きがいと楽しさを持つ子育て交流支援事業</p> <p>【児童家庭課】</p>	<p>核家族化・少子化、近隣関係の希薄さ等子育て世代を取り巻く環境の変化により、孤立化、育児力の低下、育児不安や育児負担感をもつ親が増加している。保健師が地域の方々、子育て中の親子が気軽に集まれる場である「地域サロン」等を開催し、集団遊びやグループワークを通して子育ての楽しさを体験する。また、子育て中の親子の交流や地域の方々との交流を推進する。</p> <p>■事業対象：区内の子育て中の親子 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所児童家庭課 ■開始時期：平成15年度</p>	<p>○地域サロン(4か所) 43回 ○育児支援グループ(3か所) 26回 ○各種健診・産後相談・予防接種 144回、育児相談(12回)に保育士及びボランティアを配置</p> <p>地域サロンや育児支援グループにおいては、保育士やボランティアと交流することで、参加者が子育てに必要な地域情報を得ることができ、地域とのつながりを持つことができた。また、子育てを楽しみと感じる経験を重ねることで、育児不安や育児負担感の軽減を図ることができた。 保育士やボランティアを配置することで、各種健診・相談において子どもの安全の確保と相談の充実が図られた。母子保健事業の目的である乳幼児及び保護者の健康の保持増進に寄与することができた。</p>	<p>予算額：1,378,000円 決算額：1,315,133円</p>

<p>3-14 たまたま子育てまつり 開催事業</p> <p>【生涯学習支援課】</p>	<p>安心して子育てができる地域の環境づくりを進めるために、子育て支援団体、市民グループ、関係機関、行政等の協働により、情報ひろば、親子で遊べる機会、子育て相談、子育てサークルの紹介などの各種イベントや情報提供等を内容とした子育てまつりを開催し、区民の交流できる場、学びの場を総合的に提供する。</p> <p>また、子育て支援及び生涯学習の推進を目的として、子育て中の保護者を対象とした講演会を別途開催し、子育ての諸問題を考えてもらうための学習の機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■事業対象：子育て中の親子及び子育てに関心のある市民</li> <li>■事業形態：一部委託</li> <li>■実施主体：たまたま子育てまつり実行委員会</li> <li>■開始時期：平成 15 年度</li> </ul>	<p>○たまたま子育てまつり 9/15(日) 参加者約 3,600 名 ○たまたま子育て講演会 10/26(日) 参加者 26 名</p> <p>実行委員の募集を広く行うことにより、これまでにない若い世代が実行委員に参加し、新たな感性を企画運営に活かすことにつながった。学生ボランティアについても昨年度より多くの人数が参加し、充実した運営を行うことができた。また、ホールイベントについても、例年とは異なり実行委員会企画として行い、地域で活動している団体を複数招き、親子が楽しめるイベントとなった。今年度は台風接近のため、雨天の中の運営になったが、オープニングの時点で多くの来場者があり、区民が多く期待を寄せるおまつりに成長している。</p>	<p>予算額：469,000 円 決算額：469,000 円</p>
--	---	--	--

**IV 環境まちづくり事業費 予算額 542,000円 決算額 531,782円**

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
4-1 カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略関連事業  【企画課】	<p>地球規模の課題である地球温暖化の問題を解決するためには、地球全体で考え、地域でできることから対応を進めていくことが必要である。多摩区役所では、区民がエコロジー(自然環境保護、地球温暖化防止)に、家庭(日常生活・ライフ)で身近に取り組める地球温暖化防止策を紹介するなど、市民活動団体等との協働による地球温暖化緩和策を推進する。</p> <p>(1) 緑のカーテン大作戦の実施。(2) リユース食器普及啓発事業の実施。(3) 小学生向けエコ関連の啓発イベントの実施。(4) 地球温暖化対策パネル展の実施。(5) エコの取組の広報。</p> <p>■事業対象：区民            ■事業形態：一部委託            ■実施主体：区役所企画課            ■開始時期：平成 21 年度</p>	<p>○夏休み！多摩区エコフェスタ開催 8/19(月) 参加者約 400 人            ○地球温暖化防止パネル展の実施            ○緑のカーテン大作戦の実施            ○サマーミュージアムでのリユース食器を活用した取組の実施            ○多摩区役所職員「一人一エコ運動」の実施</p> <p>エコに関連したイベントの開催など、地球温暖化防止に向けた取組を地域住民・団体と協働で推進し、区民の環境意識の向上を図ることができた。区役所施設における緑のカーテン大作戦や生田緑地サマーミュージアムでのリユース食器による 3R の取組の PR については、市民活動団体との協働により実施し、CC の取組を区民に PR することができた。</p> <p>また、区役所職員による「一人一エコ運動」の実施により、区役所全体での CC に関する取組や意識を推進することができた。</p>	予算額：350,000 円 決算額：342,334 円
4-2 水辺の愛護活動事業  【地域振興課】	<p>市内はもとより、他都市からも多くの人々が訪れる歴史的な環境資源である二ヶ領用水を育み、憩える緑豊かな水辺の空間づくりに寄与するとともに、区内の環境愛護活動を推進するため、町内会・自治会、商店街、子ども会、市民団体、学校、事業者と協働で、河川敷のごみの回収など清掃・愛護活動を実施する。</p> <p>■事業対象：区民            ■事業形態：直営            ■実施主体：区役所地域振興課            ■開始時期：平成 20 年度</p>	<p>○清掃活動の実施            ・二ヶ領用水本川 9/29(日)            ・二ヶ領用水宿河原線 9/29(日) 参加者約 716 名</p> <p>二ヶ領用水宿河原線の清掃活動については、近隣町内会自治会・各種団体と連携し、市内統一美化活動に合わせて実施した。</p> <p>また、平成 23 年度から実施している二ヶ領用水本川の清掃活動についても、中学校及び広範囲の近隣町内会自治会と連携・調整により市内統一美化活動に合わせて実施し、より良い水辺の環境を守っていくための愛護活動を推進することができた。二ヶ領用水本川の清掃活動への参加者も年々増加し、二ヶ領用水の愛護活動が区民に幅広く定着しつつある。</p>	予算額：192,000 円 決算額：189,448 円



V 地域資源活用事業費

予算額 24,529,000円 (当初予算額 24,194,000円)

決算額 23,691,021円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
<p>5-1 観光振興・タウンセールス推進事業(区独自事業)</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>多摩区を豊かな自然や文化財と身近に触れ合える新しい観光エリアとして広報宣伝し、区のイメージアップを図る。</p> <p>また、観光客の誘致に努めるため、多摩区観光推進協議会と連携し、区の魅力を市内外に積極的にアピールしながら、集客力の向上、交流人口の増加につなげる取組を進め、住み良い、賑わいと魅力あるまちづくりを推進する。</p> <p>■事業対象：区民、近郊都市住民                  ■事業形態：全部委託                  ■実施主体：多摩区観光推進協議会                  ■開始時期：平成19年度</p>	<p>○戦略観光ポスター、各種観光ポスター作成                  ○地域情報誌(ぼど・タウンニュース等)による区内の魅力・情報発信                  ○多摩区観光情報HPの情報更新                  ○観光ガイドマップ、ガイドブックの整備                  ○登戸ペDESTリアンデッキバナー事業                  ○地域イベント出店(あじさい祭り、民家園通り商店会夏まつり、多摩区民祭、狛江市民祭り)                  ○都市間交流事業(千葉県南房総市、静岡県藤枝市)</p> <p>観光ガイドブックやガイドマップの発行、HP「多摩区見どころガイド」の更新等による広報・宣伝活動や、地域イベント・行事への出展、広報支援といった取組を実施し、区の内外に多摩区の魅力発信した。</p> <p>また、多摩区の交流都市である千葉県南房総市や、狛江市等の近隣都市において、それぞれのイベントに出展しPR活動を行った。</p> <p>平成26年度に、3つの区内観光団体の統合を予定しており、その骨子、組織体制、事業計画等の検討を行い、合意することができた。</p>	<p>予算額：6,917,000円                  決算額：6,608,542円</p>
<p>5-2 「音楽のまち・かわさき」多摩区事業</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>市の重要施策である「音楽のまち・かわさき」を多摩区でも推進することで、区民が音楽芸術に身近に触れる機会を提供するとともに、多摩区の地域資源を活用して地域への関心や愛着の醸成を図ることができる。また音楽を通じて、区民や音楽家同士の連携による地域交流の促進や、地域の活性化を推進する。</p> <p>(1)「生田緑地★星空コンサート」の開催 (2)「たま音楽祭」の開催 (3)「たまアトリウムコンサート」の開催</p> <p>■事業対象：区民                  ■事業形態：全部委託                  ■実施主体：区役所地域振興課                  ■開始時期：平成16年度</p>	<p>○生田緑地★星空コンサート 9/23(月祝) 15:30~19:40 来場者580名                  ○たま音楽祭事業 2/1(土)13:30~17:00 来場者約2,200名                  ○たまアトリウムコンサート事業 5月、8月、11月、2月の第3水曜日開催 12:00~12:40 各回来場者約200名(8月は拡大開催により700名)</p> <p>区民に音楽芸術に身近に触れる機会を提供し、区の魅力をアピールすることができた。たまアトリウムコンサートは、8月には40回を記念し、大ホールで時間や出演者数を拡大し開催した。たま音楽祭は、ステージをさらに1つ増やす等規模を拡大し、実行委員会形式による区民発意の企画運営を行った。生田緑地★星空コンサートは、初の取組として、区の地域資源である生田緑地や「かわさき宙と緑の科学館」を活用し、区民の身近な場所で良質な音楽と憩いの場を提供した。</p>	<p>予算額：3,263,000円                  決算額：3,126,182円</p>
<p>5-3 里地里山の保全活動事業</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>自然の豊かさや大切さを体験してもらおうことを目的に、区内の青少年をはじめとした住民に大小様々な森と触れ合う機会を提供するため、生田緑地を中心とした身近にある森で事業を実施する。</p> <p>ネイチャーゲーム(自然体験プログラム)を中心とする事業を展開する。区民が自然とふれあい、学び、感じられる機会を提供することで、多摩区の豊かな自然環境の維持と発展に貢献できる。</p> <p>■事業対象：区民                  ■事業形態：全部委託                  ■実施主体：自然体験のつどい実行委員会                  ■開始時期：平成2年度</p>	<p>○実行委員会会議 4回 3/8(土) 生田緑地中央広場および「かわさき宙と緑の科学館」において開催。来場者約1,000名</p> <p>実行委員会を構成する関係団体をはじめ多くの団体の協力により、生田緑地の自然に関するパネル展示による学習や、自然とふれあえる体験学習であるネイチャーゲームなどを実施した。</p> <p>また、「かわさき宙と緑の科学館」と連携し、青少年が自然について、自ら調べ学ぶ機会を生み出すとともに、身近な自然を大切に育むことができた。</p>	<p>予算額：850,000円                  決算額：827,321円</p>
<p>5-4 ミニ水族館の維持管理</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>「水と緑と学びのまち・多摩区」の象徴ともいえる「多摩川」に生息する淡水魚等を飼育管理し、区民が自然や生物に身近に親しむ機会を提供するとともに、多摩川への愛着を深め、環境意識を啓発する。</p> <p>■事業対象：区民                  ■事業形態：全部委託                  ■実施主体：区役所地域振興課                  ■開始時期：平成2年度</p>	<p>○多摩川に生息する淡水魚等を飼育管理し、多摩川を身近に親しむ機会を提供                  ○単なる水槽ではなく、多摩川のことを知り愛着を深めてもらうツールとして展示</p> <p>年間を通じて来庁した区民が身近に鑑賞できる場を提供し、庁舎内に憩いの場を創出することで、多摩川への愛着・関心、郷土への思いを深めてもらうとともに、自然環境への意識啓発を図ることができた。</p> <p>また、展示物についても検討を行い、パネルの変更等を次年度に行うこととした。</p>	<p>予算額：756,000円                  決算額：756,000円</p>

<p>5-5 郷土芸能推進事業</p> <p style="text-align: center;">【地域振興課】</p>	<p>かけがえのない貴重な資源である多摩川を多くの人に親しんでいただき、関心を持ってもらうために多摩川流域に根付き、伝承されている郷土芸能を一同に集めたフェスティバルに参加し、流域の観光・商業の振興を図る。実行委員会を構成する自治体として山梨県小菅村、丹波山村、東京都府中市、奥多摩町、狛江市及び川崎市(多摩区)が参画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■事業対象：多摩川流域住民</li> <li>■事業形態：直営</li> <li>■実施主体：区役所地域振興課</li> <li>■開始時期：平成 21 年度</li> </ul>	<p>○多摩川流域郷土芸能フェスティバルの開催 12/1(日) 狛江エコルマホール 参加者約 500 名</p> <p>狛江エコルマホールでの多摩川流域郷土芸能フェスティバルの開催によって、区の伝統芸能である多摩川音頭・梨もぎ音頭を披露することができ、参加者の方々に、かけがえのない貴重な資源である多摩川の郷土芸能に関心を持っていただき、より区に親しみを感じてもらうことができた。</p> <p>また、多摩川流域の観光の振興が図られた。</p>	<p>予算額：100,000 円 決算額：100,000 円</p>
<p>5-6 多摩区・3 大学連携事業</p> <p style="text-align: center;">【企画課】</p>	<p>区内に 3 つの大学(専修大学・明治大学・日本女子大学)が立地するという地域特性を活かした魅力あるまちづくりを推進するため、大学と地域の交流・連携を図るとともに、地域の様々な課題の解決に向けて、大学の研究と連携した取組を実施する。</p> <p>(1)多摩区役所と区内 3 大学で構成する「多摩区・3 大学連携協議会(平成 17 年 12 月設立)」の定例開催 (2)地域課題解決事業(3 大学連携事業)の実施 (3)「多摩区 3 大学コンサート」の実施 (4)インターンシップの実施 (5)区民祭での地域貢献 (6)「生田緑地エントランススポット」の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■事業対象：専修大学、明治大学、日本女子大学及び区民</li> <li>■事業形態：一部委託</li> <li>■実施主体：多摩区・3 大学連携協議会</li> <li>■開始時期：平成 18 年度</li> </ul>	<p>○各大学と連携した地域課題解決事業の実施 ○コンサートや駅伝を活用したイベントの実施</p> <p>地域課題解決事業として、専修大学「かわさきワンセグ×かわさき FM「たまキャンパスライブ」番組配信事業」、明治大学「まちなか研究室(地域住民の交流拠点)の創出事業」、日本女子大学「寺尾台団地における高齢者への生活支援事業」を実施し、3 月 15 日に実施した「3 大学連携フェア」にて取組を広く区民へ周知した。</p> <p>また 10 月 5 日に開催した 3 大学コンサートでは、約 450 名の来場者数があった。その他、駅伝の応援イベント、インターンシップ(6 名)等、大学と協力した様々な事業を行った。</p>	<p>予算額：2,755,000 円 当初予算額：2,525,000 円 (緊急対応経費から流用：230,000 円) 決算額：2,434,530 円</p>
<p>5-7 多摩区スポーツ推進事業</p> <p style="text-align: center;">【地域振興課】</p>	<p>地域のスポーツ推進を目的として、誰もが参加でき、気軽にスポーツを楽しむことができるスポーツ行事「多摩区スポーツフェスタ」を開催する。</p> <p>多摩スポーツセンター等を会場として、スポーツに親しむ機会の提供と優れたスポーツ選手との交流を通じて、区民のスポーツに対する意識を向上させ、継続的なスポーツへの取組を促し、スポーツを通じた健康で元気なまちづくりに繋げる。</p> <p>また、区では稲田地区と生田地区それぞれが個別にスポーツ種目を実施しているが、区のスポーツ推進事業として実施することにより、地区エリアを越えた区民・世代同士の交流を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■事業対象：区民</li> <li>■事業形態：全部委託</li> <li>■実施主体：区役所地域振興課</li> <li>■開始時期：平成 25 年度(新規事業)</li> </ul>	<p>○多摩区スポーツフェスタの開催 3/2(日) 9:00~15:30 来場者約 2,000 名</p> <p>川崎市多摩スポーツセンターと周辺小中学校の施設を活用し、スポーツ推進委員会や総合型地域スポーツクラブなどの地域スポーツ関係団体と連携して、本市や区にゆかりのあるプロスポーツチームなどによるスポーツ教室を実施した。当初予定していた教室数(5 教室程度)を上回る 27 教室を実施した他、稲田・生田地区のスポーツ交流を目的としたバレーボール交流試合なども実施し、区民がスポーツに親しむことができる事業を実施することができた。</p>	<p>予算額：783,000 円 決算額：742,506 円</p>
<p>5-8 観光振興・タウンセールス推進事業(局区連携事業)</p> <p style="text-align: center;">【地域振興課】</p>	<p>多摩川や生田緑地等の自然、また「藤子・F・不二雄ミュージアム」や「かわさき宙と緑の科学館」等の、新たな文化施設などの地域資源を活用した地域活性化を推進するため、広報物の作成等を大学生や区民との協働により行う。</p> <p>また、観光人材の育成として、観光ボランティアガイド育成セミナーを実施する。</p> <p>その他、区民から地域活性化のアイデアを吸い上げる取組としてアイデアコンテストやワークショップイベント等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■事業対象：区民</li> <li>■事業形態：全部委託</li> <li>■実施主体：区役所課</li> <li>■開始時期：平成 23 年度</li> </ul>	<p>○大学生による地域情報誌(川崎多摩すたいる)の作成と謎解きしながら区内を周遊するツアーの実施 ○藤子・F・不二雄ミュージアム周遊マップの作成 ○観光ボランティアガイド 2 期生育成セミナーの開催 ○観光ボランティアガイドとの連携による、区の魅力発信ツアーの実施 ○観光まちづくりアイデアコンテストの開催 ○タウンセールスミーティングの開催 ○多摩区名産品の PR</p> <p>大学生が地域を取材し、情報誌の発行やまちめぐりに取り組んだ。観光ボランティアガイド第 2 期育成セミナーを開催し 19 名が修了、ガイド活動としてモニターツアーや依頼ガイド等を行った。1 期生を含めた 33 名が多摩区観光協会の部会として活動していくこととなった。「アイデアコンテスト」を開催し、250 以上ものアイデアが区内外から集まった。</p> <p>また、「タウンセールス・ミーティング」を開催し、様々な団体や 3 大学の活動発表のほか、今後の区の観光施策を考えるワークショップ等を行った。こうした取組により、区民発意の施策展開につなげるための、地域ニーズの把握、アイデアの集約を行うことができた。</p>	<p>予算額：9,000,000 円 決算額：8,990,940 円</p>

<p>5-9 広報力アップ事業</p> <p>【企画課】</p>	<p>区の様々な情報を広く区民に周知するため、様々な広報媒体を活用し、最新かつ効果的な情報の発信を行う。</p> <p>また、地域に特化した情報を発信することで、コミュニティの活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■事業対象：区民</li> <li>■事業形態：全部委託</li> <li>■実施主体：区役所企画課</li> <li>■開始時期：平成 25 年度(新規事業)</li> </ul>	<p>○区の木・区の花のイラスト化</p> <p>市制 90 周年を迎えるにあたり、「区の木・区の花」が、区民の多摩区に対する誇りや愛着を更に高め、また、今後も多摩区の魅力を区内外に伝える役割を果たすものであり続けるようイラスト化し、区民投票「多摩区区の木・区の花のイラストをみんなで選ぼう！」(H25.12.16～H26.1.31)により決定した。投票数約 1,300 通</p> <p>結果については、市政だより多摩区版 4 月号及び区ホームページ等により広く区民に周知を図った。</p>	<p>予算額：105,000 円 当初予算額；0 円 決算額：105,000 円</p>
----------------------------------	--	--	--

**VI 地域コミュニティ活性化推進事業費**      **予算額 15,470,000円 (当初予算額 15,503,000円)**      **決算額 14,052,763円**

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
6-1 地域コミュニティの活性化促進事業  【地域振興課】	未加入世帯の増加、役員の後継者難といった、各町内会・自治会の抱える課題を的確にとらえ、その解決のための支援策について検討、実施することにより、町内会・自治会活動の振興、地域コミュニティの活性化を図る。多摩区町会連合会や区内大学等と連携しながら、紙媒体の広報だけでなく、若年世代の利用の多いインターネット等を活用することにより、これまで町内会・自治会活動に参加していなかった区民への情報発信を行い、町内会・自治会活動への理解を高めることができる。 (1) 区内大学の学生と連携した、ホームページを利用した町内会・自治会活動の情報発信 (2) 町内会・自治会加入促進のための広報物の作成  ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成20年度	○地域コミュニティ活性化促進委員会会議 3回 ○多摩区の町会自治会活動をホームページで紹介 ○町内会自治会への加入促進ポスターを町内会自治会掲示板、区内公共施設、主要駅への掲出 ○自治会長・広報担当役員を対象に情報発信に関する研修会(3月)を実施  アンケート結果を踏まえ、IT利用による町内会・自治会活動の活性化をテーマに、町内会・自治会活動に参加していない(加入を含む)への情報発信を強化するためのホームページにおいて、区内大学ゼミ生等に協力を依頼し町内会・自治会活動にあまり参加していない若年世代の視点で町内会・自治会の活動を紹介するとともに、ポスターを町内会・自治会掲示板など区内の主な箇所に掲示した。	予算額：1,893,000円 決算額：1,892,100円
6-2 多摩まちかど祭開催事業  【地域振興課】	区内相互のふれあいと地域の活性化を目指して、区民一人ひとりが舞台運営の担い手となるステージショーを区民祭の会場で開催して、心温かい地域コミュニティの形成に役立てる。地域に根ざしたより身近な場所で舞台公演することによって、区民に文化芸術の発信、交流、鑑賞の場を提供し、地域コミュニティの形成に役立てられる。  ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区まちかど祭実行委員会 ■開始時期：平成3年度	○多摩まちかど祭を開催 10/19(土)に生田緑地内で19団体(大人121人、子ども114人)が出演 参加者約77,000名  区民公募により、大人から子どもまで幅広い層の出演者による舞台公演が実施された。伝統芸能やダンス、コーラスなどを披露する場を身近な地域に設定することで、文化・芸術の場とすることができた。 また、2組の初参加者、前回より2組増の19組が出演するなど、区民がふれあい憩える場の提供ができ、地域コミュニティの形成にも大きく貢献できた。	予算額：800,000円 決算額：800,000円
6-3 まちづくり推進事業  【地域振興課】	区内の市民活動団体のまちづくりに関する活動に対する支援、並びにまちづくりに関する課題の提起及びその解決のための実践を、区民が主体となって区と協働して行うことで、活動の担い手の発掘・育成に取り組みながら、他の市民活動団体では担えない中間支援的かつ公益的な役割を果たしていく。  ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区まちづくり協議会 ■開始時期：平成12年度	○まちの課題を解決するためのプロジェクト活動(たまの居場所ふらっと、多摩エコスタイルプロジェクト) ○まちの課題の抽出とその解決方法に関する意見交換会(たまサロン) ○まちづくり活動発表会(まちカツ!)の開催 ○座学研修・視察研修(多摩★まち大学)の開催 ○市民活動団体の活動紹介と交流の場(多摩★まちCafé) ○広報紙の発行等、広報の充実に向けた取組  市民活動団体のまちづくり活動発表会「まちカツ!」、まちの課題をみんなで話し合う「たまサロン」、カフェ的な雰囲気での市民活動団体の情報交換・交流の場を提供する「多摩★まちCafe」の開催等を行った。 また、講座プログラム「多摩★まち大学」の回数を増やし年7回開催し、うち1回は初の試みとして連続講座を開催し好評を得た。 その他、具体的な課題解決の取り組みとして、エコと世代間交流の2つのプロジェクト活動を行い、中間支援的活動として、市民活動団体及び区民の交流の場や学習の場の提供を進め、プロジェクト活動においては、個々の取り組みを進め一定の成果を残すことができた。	予算額：4,996,000円 決算額：4,565,129円
6-4 市民活動支援事業  【地域振興課】	区民や市民活動団体が自発的、継続的に参加し、第三者や社会の課題解決に貢献する営利を目的としない活動の、自発的かつ自立的な発展を支援するために、印刷や資料づくり等に必要の備品等を備えた「多摩区民活動・交流センター」を多摩区総合庁舎及び生田出張所に設置し、登録した団体及び個人に対し、利用開放する。運営にあたっては、利用受付業務等を区民活動・交流センターの利用団体を主体とする運営委員会と協働で行い、団体間の交流と相互支援を促進する。  ■事業対象：区内で活動する市民活動団体 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成13年度	市民による自主的かつ自立的な管理運営を実践するため、利用登録団体からなる「多摩区民活動・交流センター運営委員会」を設置し、多摩区民活動・交流センターの管理運営について協議・検討を行うとともに、利用登録団体同士の情報交換・交流を図り、市民活動の拡大・発展を図るため、団体間の交流を促す事業を実施した。	予算額：3,721,000円 当初予算額：3,754,000円 決算額：3,687,228円

<p>6-5 地域課題解決につながる地域人材育成事業</p> <p>【生涯学習支援課】</p>	<p>市民活動・生涯学習団体の把握とそのニーズの調査結果を市民活動団体・地域人材等に理解を深めてもらうためにワークショップを開催する。その地域人材・市民活動情報の管理は生涯学習支援課が担う。</p> <p>市民活動団体の育成及びその市民活動の活性化をめざし、区役所における市民との協働事業を多様に市民活動団体と推進していくこと目的として“多摩区地域人材育成基本方針”を策定する。</p> <p>■事業対象：区民          ■事業形態：一部委託          ■実施主体：区役所生涯学習支援課          ■開始時期：平成25年度(新規事業)</p>	<p>○多摩区地域人材育成基本方針策定委員会の開催 2回          ○市民活動・生涯学習活動団体の把握とそのニーズ調査の実施 7～9月          ○地域活動ワクワクセミナーの開催 1/25(土)・2/16(日)          ○多摩区地域人材育成基本方針の策定</p> <p>平成26年度から地域人材の募集や育成事業を展開していくための基盤整備を平成24～25年度にかけて行ってきた。上記調査において、市民活動団体の実態・ニーズ、地域課題の把握などもできたため、それら結果の検証や今後のスケジュール等を多摩区地域人材育成基本方針に反映し、それに基づいて今後の地域人材育成を図る。</p>	<p>予算額：1,560,000円          決算額：689,306円</p>
<p>6-6 公園を拠点としたコミュニティづくり推進事業(局区連携事業)          ※区民会議関係</p> <p>【企画課】</p>	<p>第2期多摩区区民会議(平成20～21年度)提言を踏まえて、地域の貴重な資源として、身近な公園を今まで以上に地域のコミュニティの拠点として活用することで、高齢者のいきがづくりや子育て世代への支援策を促進する。</p> <p>■事業対象：区民          ■事業形態：一部委託          ■実施主体：区役所企画課          ■開始時期：平成23年度</p>	<p>○推進委員会の開催 6回          ○臨時推進委員会の開催 1回          ○登戸第2公園で関係団体による交流会の開催 10/12(土) 参加者約250名          ○情報掲示板設置に向けた意見交換会及び活動報告を兼ねたフォーラムの開催 3/15(日) 参加者32名          ○年次報告書の作成</p> <p>5月に公園関係者に対し交流会の実施及び情報掲示板の設置に関するアンケート調査を実施し、更なる公園を活用したコミュニティ活性化につながるコンテンツについて把握に努めた。この結果をもとに、10月12日(土)には、登戸第2公園で交流会を開催し、天候にも恵まれ約250名の参加者があり、参加者同士の積極的な交流が図られた。</p> <p>また、情報掲示板設置に関する意見交換会及び今年度の活動報告会を「たま学びのフェア2014」において開催し、公園関係者の参加のもと、情報掲示板の管理運営等に関する意見交換や公園を拠点としたコミュニティづくりのための方策の理解を深めることができた。</p> <p>その他、本年度の取組を報告書にまとめた。</p>	<p>予算額：2,500,000円          決算額：2,419,000円</p>

**Ⅶ 区役所サービス向上事業費**      **予算額 2,824,000円 (当初予算額 1,548,000円)**      **決算額 2,595,291円**

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
7-1 窓口サービス改善推進事業  【区民課】 【総務課】	<p>平成 16 年度に区民課において I S O 認証取得後、市民の求める質の高い窓口サービスを継続的に維持していく必要があり、そのための窓口環境整備費用としてスタートした。現在では、区役所全体の窓口環境の改善に向け事業を展開しており、区をあげての窓口サービスの向上に資する内容となっている。</p> <p>■事業対象：多摩区総合庁舎来庁市民、区役所職員            ■事業形態：一部委託            ■実施主体：区役所区民課・総務課            ■開始時期：平成 22 年度</p>	<p>○区民課証明発行コーナー、新番号表示システムの円滑な運用            ○区民課・保険年金課待合フロアのソファ、キッズコーナーのリニューアルを実施            ○区役所職員を対象に接遇研修を階層別実施 全 3 回</p> <p>区民課証明発行コーナーでの日常的な業務及び円滑に運営した分かりやすい新番号表示システムの存在により、区民課窓口の混雑緩和に貢献することができた。            また、区民課・保険年金課待合フロアの老朽ソファの取替え・キッズコーナーのリニューアルにより、子どもから年配者に渡る幅広い年齢層の市民にとって、快適な待ち時間を提供することができた。            さらに「多摩区役所サービス向上委員会」主催の基に実施した接遇研修により、日常の市民対応にその成果を活かすことができた。</p>	<p>予算額：2,824,000円            当初予算額：                1,548,000円            (緊急対応経費から            流用：1,276,000円)            決算額：2,595,291円</p>

**Ⅷ 地域課題対応事業その他経費**      **予算額 3,784,000円 (当初予算額 5,362,000円)**      **決算額 2,890,268円**

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
8-1 磨けば光る多摩事業 【企画課】	<p>多摩区における地域課題の解決や、安全で安心・潤いのある暮らしの実現に向けて、市民活動団体が自主的、主体的に実施する公益性の高い活動提案を募集し、選定されたものを川崎市の事業として位置付けたうえで、提案者に委託する。(委託料70万円上限×3団体)</p> <p>区民の自主的・主体的な事業を促進することで、生活者目線での身近な地域課題の解決を図るとともに、区民の地域への関心を深め、市民自治による魅力あるまちづくりを推進する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課、区内で活動する市民活動団体 ■開始時期：平成18年度</p>	<p>以下の3事業が選定され、事業実施した。</p> <p>○私のエコ、みんなのエコ～地域のエネルギー資源循環を学んでみよう～(2年目事業)</p> <p>○地域コミュニティ活性化による子育て支援公園カフェ事業(1年目事業)</p> <p>○花・音楽等による協働まちづくり(3年目事業)</p> <p>地域における課題が多様化し複雑化している中で、市民活動団体のノウハウを効果的に活用することにより、各事業について多くの参加者を集め、好評を得ることができた。</p> <p>また、提案事業の審査については、公開プレゼンテーションを実施し、事業終了後に報告会を実施し評価・検証することにより、事業の透明性の確保及び今後の事業を実施するうえでの改善点などの洗い出しをすることができた。</p> <p>さらに、市民活動団体と協働で実施することにより、市民活動の活性化を図り、区民と行政との協働による仕組みづくりの推進につながった。</p>	<p>予算額：2,203,000円 決算額：2,121,420円</p>
8-2 緊急対応経費	緊急課題や区民要望に対応すべき事業のための予備費。	<p>5-6 多摩区・3大学連携事業への流用      230,000円</p> <p>5-9 広報力アップ事業への流用      105,000円</p> <p>7-1 窓口サービス改善推進事業への流用      1,276,000円</p> <p style="text-align: right;">流用額合計：1,611,000円</p>	<p>調整後予算額： 751,000円</p> <p>当初予算額： 2,362,000円</p> <p>決算額： 0円</p>
8-3 共通事務経費	地域課題対応事業費の共通事務経費。	地域課題対応事業で共通に必要な物品(印刷機インク等)を購入した。	<p>予算額：830,000円 当初予算額：797,000円</p> <p>決算額：768,848円</p>

<b>I 安全・安心まちづくり事業費</b>	<b>予算額 5,576,000円</b>	<b>決算額 5,372,419円</b>
<b>II 地域福祉・健康づくり事業費</b>	<b>予算額 1,995,000円</b>	<b>決算額 1,834,065円</b>
<b>III 総合的こども支援事業費</b>	<b>予算額 14,570,000円</b>	<b>決算額 13,963,987円</b>
<b>IV 環境まちづくり事業費</b>	<b>予算額 542,000円</b>	<b>決算額 531,782円</b>
<b>V 地域資源活用事業費</b>	<b>予算額 24,529,000円</b>	<b>決算額 23,691,021円</b>
	<b>(当初予算額 24,194,000円)</b>	
<b>VI 地域コミュニティ活性化推進事業費</b>	<b>予算額 15,470,000円</b>	<b>決算額 14,052,763円</b>
	<b>(当初予算額 15,503,000円)</b>	
<b>VII 区役所サービス向上事業費</b>	<b>予算額 2,824,000円</b>	<b>決算額 2,595,291円</b>
	<b>(当初予算額 1,548,000円)</b>	
<b>VIII 地域課題対応事業その他経費</b>	<b>予算額 3,784,000円</b>	<b>決算額 2,890,268円</b>
	<b>(当初予算額 5,362,000円)</b>	
<b>合計</b>	<b>予算額 69,290,000円</b>	<b>決算額 64,931,596円</b>